

## 第2回向日市民温水プールあり方検討会議 会議録

日 時 令和5年9月26日（火） 午後3時から午後5時まで

場 所 向日市役所本館3階 第7会議室

出席者 (委員)  
松永委員、木村委員、藤田委員、大川委員、梅田委員、高橋委員  
黒木委員、近藤委員、長谷川委員、山本委員

(事務局)  
山田市民サービス部長、田口地域福祉課長、大山同課主任

傍聴者 10人

---

### 1 開会

### 2 委員の紹介

### 3 議事

#### (1) 前回の会議内容について

事務局 (資料に基づき、事務局より説明)

会 長 前回の会議の意見のまとめと、追加の資料の説明のところで、質問等がありましたらお受けしたいと思います。

まちづくりの状況については、前回意見がありましたが、かなり周辺の開発含め、状況が同時に動いているため、すぐに決まることではないということが、大きなポイントになっています。

市民温水プールのことだけを決めてしまうというのは、ちょっと周辺状況がいろいろと変わりすぎるというところは、共有できたと思いますが、この7月からの数か月で特段動きはないという状況でございます。

小・中学校のプールですが、皆さんお住まいなので、すべてご存知だったかもしれませんが、中学校一つだけプールがなく、それを補充するプールの授業もないということで、同じ市内の中学校にいながら、プールの授業がない中学校があるというところは、ちょっと驚いています。

良いか、悪いかというのは置いておいて、そういう状況なんだと

いうところを踏まえ、小学校のプールがかなり古いという状況等を見ていただいたというところです。このあたりは、皆さんご存じですかね。お子さんが中学校世代とかだと、ご存じかもしれませんがそうじゃないと多分、そこまでは、知らなかったっていう委員の方もいらっしゃるかもしれませんので、またご質問があればお願いします。

委員 質問ですが、小・中学校のプールの建設年度が大変古いなと思いました。そもそもプールというものがどのぐらいの耐久年数があるかがわからないですけれど、もうそろそろやり変えないといけないであるとか、年々補修費用が掛かっているであるとかであれば、学校の方を、例えば無くして集約をしていくことも意味があるのかなと思ったのですが、耐用年数とか補修で結構費用が掛っている事実があるとか、なんかそのあたりが気になりました。

事務局 専門ではないので、耐用年数というところまでは、ちょっと調べきれていないですが、やはり現在老朽化しているのは間違いないところです。

光熱費とかではなくて、保守メンテナンスというところでプールの底のところのひび割れとか、どうしても壊れてきたりしている状況があることをお伺いしています。

教育委員会でも、学校プールのあり方をどうするべきかということとは、ここ何年か議論されていると伺っております。

会長 教育委員会の話ではあると思いますが、今回のプールと学校プールの件は、かなり密接に絡み合ってくる話になります。教育委員会の情報も何か動きがありましたら、提供いただきたい。

また、先ほどのご指摘はとても重要で、学校プールの補修工事や改修、あるいは新設なのか、勝山中学校のように改修ではなくて、プールを無くしてしまうということも、小・中学校でもあり得るのかなど、そのあたりのところと、この温水プールの話は、かなり密接に絡み合ってくるところなので、また状況のわかる範囲でご説明をお願いできればと思います。

あと、今ルール上、大丈夫だからこうされていると思いますが、同じ市内にいて、教育内容が異なるという点においては、ひょっとしたらご意見があるかもしれないので、いい機会ではあると思っております。

プールの授業は、もちろん水泳の技術が向上するだけではなくて水難救助のことですとか、水に関わるというところの学びもあるはずなので、そのあたりを逆にどうされているのかということも、気にはなるところではあります。

一旦、前回の会議内容については、よろしいでしょうか。  
議事の1番目が終わりました、議事の2番目の他自治体の事例について、事務局の方からご説明をお願いしたいと思います。

## (2) 他自治体事例について

事務局 (資料に基づき、事務局より説明)

会 長 皆さんをご存じの施設で、この事例以外にもこんな事例の紹介があればよかったということもあるかもしれませんので、そんなこともご紹介いただければというふうに思います。一旦、前回のご意見を参考にしながら事務局の方で、全国で参考になるような、様々な角度からの事例をご紹介いただきました。

ご紹介いただいたPFIも、ここ10年ぐらいで活用されるところは増えていますが、満期を迎えられて、結局どっちがよかったというのが、まだ結論が出ていない。現在進行形のところが非常に多いという事例もありますので、どれが一番いいですよというの、色々な条件によって違ってきたりもしています。

今、事例紹介いただいた質問でも結構ですし、このまま意見交換に入らせていただきますので、前回同様、いろんな角度からご意見をいただければと思いますが、皆さんの方でご存じの事例でご紹介いただければ、また次回までに、詳しく調べていただいて、この会議で共有が必要ということであれば、次回の会議に資料を用意するということになると思います。

## (3) 意見交換について

会 長 今回ご紹介の内容プラス、繰り返しになりますが、資料2の周辺のまちづくりの状況があるので、他の自治体と大きく違うのは、この温水プールを取り巻く環境が、かなり大きく動くところが特徴になっています。どのような角度からでも結構ですので、おひとり一回はご発言いただきたいと思っております。

委 員 私のこのあり方検討会議に対する捉え方は、アンケートの結果を踏まえて、49.4%の人が存続すべきというふうに答えた結果を得て、事務局の方たちも検討していただいて、あり方委員会を設置したということになったと思っています。プールを無くしていく方向ではなくて、どうやったらダウンサイジングしながらやっていけるのかという方向で見ていきたいなと思っています。前回のアンケートに関する報告書を読ませていただき、もちろん存続すべきという意見も見ましたが、廃止すべきという意見の中にも、こうだからい

らないというのが書かれていたので、そこをひっくり返して、こうだったらやっていけるのではないかっていう見方で考えていけたらいいなと思っています。もちろん、勝中（勝山中学校）にプールがないなんて、その不平等についても考えながら作っていったらいいなと思います。また、先ほど、会長がおっしゃっていただいたように、他の事例ということで、武蔵野の森総合スポーツプラザという施設の料金設定がとても明確で、しかも安すぎることなく、参考になるものだと思います。向日市はちょっと安過ぎたのではないかって思っていますが、開設当初の金額っていくらぐらいだったかわかりますか。あまり値上がりもしていなく、運営されてきたのかなと思うのですが、やはり駐車場代のこととか、いろんなことを考えながら、他の防災のこともありつつ、幼児用の小さなお子さんを育てている家庭にも恩恵があるような、そういう方向でやっていったらいいなと思います。また、北部のほうの人たちが行きにくい、使っていないのかって言ったら、やっぱり行きにくいからということがあるので、「ぐるっとむこうバス」の不評なルートなどの改善も考えつつ、向日市全体として良くなっていくっていうことを考えていけたらいいなって思っています。

会 長 武蔵野の森のスポーツプラザは、東京オリンピックに向けてかなり大々的にオリンピックのバドミントン会場だった施設だったと思いますが、そういう施設のご紹介と、また料金のご質問がありました。が、料金については、事務局いかがでしょうか。

事務局 開設当時の料金は、一般の利用であれば、午前中で600円、小学生であれば300円という形の料金体系で、当初運営をいただいたというような状況でございます。時間体によって午前11時以降は、350円など、料金を分ける形で運営しており、閉館される直前の利用形態とは若干違う部分があるかもしれません。

委 員 開館当初は多分3時間で600円と、1時間半で350円でした。

会 長 市外の方も多く使われていたということも含め、料金については、何か新たな取り組みがあれば、ある程度財源的なところで、今の状況よりは、何か道があるのではないかと。また、アンケートもしっかりご確認いただいて、存続すべきという人と、閉鎖してもいいのではないかとという両方のご意見をご紹介いただきました。ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。

委 員 先ほど、駐車場のことでお話が出ましたが実は、8年ほど前に駐車場の件で民間のパーキングと駐車場を有料にしようかという

話が一旦出たことがあります。8年前は、調査した結果、まだ周辺のスーパーなどに有料の駐車場がないってということで、周りが全部有料にならないと有料にしにくいという結果が出ました。普通、駐車場の場合は混雑して入れないとか、あとはもう無料の違法駐車があるとかってということで整理をしていきますが、向日市の場合はまだそういうこともなかったのので、まずは、この周りが有料駐車場になってから、体育館やプールも、有料駐車場にしたらどうかという意見をその時はいただいていた。

会 長           時代もあったと思いますが、PFIとか指定管理とか、駐車場は結構重要な収入源で、ご提案もかなりそこは差が出るころではあるので、ご指摘のように、今後なかなか運営が厳しいといったときに駐車場の料金をどうするのかというところは、一つ大きなポイントにはなってくるのではないかと思います。

委 員           商工会でも、プールのあり方について話を聞いたときに、学校プールとして集約していった方がいいのではないかっていうことをたくさんの方が言われていた。

一つに集約することで、老朽化したときに対処がしやすい。

今のままであれば、一つ一つが順番に老朽化し、費用もとんでもなく掛かる。これから少子化にもなってきますし、市もだんだん税収も減ってくるかもしれないので、集約する方向で考えていかないと駄目なんじゃないかと思う。また、学校の9つのプールをまとめると、輸送方法とかいろいろある問題は出てくるが、鹿嶋市も輸送できている。授業で十分使っていますし、授業のないときも高齢者の方がかなりここを使っている。

また、商工会で話をした際には、維持管理はやっぱり指定管理がやはりいいのではないかという意見や、修繕費等については、ネーミングライツをぜひ使って欲しいってことがありました。

先日、京都市体育館もネーミングライツで、片岡アリーナに名称が変わるようですので、京都市の体育館の修繕が大部分賄えるのでまたそれも市民還元の方向になってくるので、その二本立てで考えながら、やっていくのがいいのではないかなと思う。

もう一つは、向日市に都市公園が全然なく、都市公園がないということは避難所がないということです。学校を、避難所にするのであれば、例えば、プールを壊した後にそこを防災施設として、学校にその機能を持ってきて、都市公園のない代わりに防災施設として、各学校をしっかりと整備する。プールがあったということは、そこに水の施設もあるので、そこに、防災施設として活用していくのが良いと思う。

そういう工夫をしながら温水プールのあり方をきっかけとして、

いろんなことを考えていけばいいのではないかなと思う。

できるだけ費用負担を少なく、子どもたちと高齢者の方にすごく使ってもらえる愛される施設、そういう方向になっていけばいいんじゃないのかなというのを、今日お伝えできたらなと思います。

#### 会 長

鹿嶋市の学校のプール機能を集約するという事例が、向日市にはいいのではないかというご意見が主に大きかったと思う。学校のプールの状況のところ、勝山中学校がプール施設なしということで中学校ができたときからプールが無くて、プールなしでいこうっていう判断になった時期とか、経緯とか、ここだけなぜプールがないのかっていう理由が逆にわからない。そのあたり、次回までに追加情報があればお願いしたいのと、最後の学校プールの建設が1995年ということで、もう30年近く、新しく向日市で学校プールが建設されてないという状況なので、この教育委員会の考え方というところを、やはりお伺いしたい。同じ市内で中学校にプールがなく、学ぶ内容が同じ市内にいて違うというところについての、教育委員会のお考えとかも踏まえ、もう少し補足の情報があれば、実は集約も考えていますという話なのか、全然そんな話は出てないという話なのか、私たちの会議で、踏み込める内容と、教育委員会に主導権があって、いやそっちで決める話ですよっていうものと、こちらから意見はもちろん申し述べることはできると思うのですが、そのあたりの進捗状況というか、議論をされているようですが、いつごろから議論をされていて、今どういう状況で止まっているのかとか、ちょっとそんな情報はいただきたいなと思います。

#### 委 員

先ほども出ておりました鶏冠井・上植野東部地区のまちづくり協議会に関してですが、7月から8月いっぱいまでかけて市意見を集約いたしまして、その結果を一応まとめているところです。

地権者、売却するという人以外の人に対して60名の方にアンケート調査を取り、その結果を送る予定にしております。そのあと、説明会を行う予定であるという進捗状況であるということをお報告させていただきます。

それと意見ですが、私も、過去にプールを利用したことがあるという人間でございまして、そういうことも踏まえて、前回のこの内容も、もう一度読み返して、意見をまとめてみたところですが、アンケート調査で、49.4%、半分いかなかったという存続をして欲しいという方がいて、もっと詳しく見てみると、実際に市民の方が26.7%、市民以外の方が73.3%の利用であったということをお考えると、向日市の今の財政規模から考えたら、本当に建て替えて、存続するのがいいのかどうかということをお、しっかりとこれから先、長期的に考えなければならぬと思っていた。確かに無いよりも、あ

った方がいいというのはわかるが、今申し上げましたような将来的なことを考えると、やはり私は存続すべきではないと思っていた。

しかし、先ほどの鹿嶋市の事例が提示されて、市内のプールの老朽化など、9つの小・中学校のプールを集約するというのであれば、それはありかなというような気持ちになっている。

ただ単に集約も無しに、プールだけをするのであれば、これから先の向日市の財政負担や、人口がだんだん減ってくるような状況の中で建設費を負担し、それからランニングコストをずっと支払っていくことは、やはり無駄な投資で、他に使う道があるんじゃないかということを考えていた。小学校のプールの老朽化、その改修に伴って集約をするということであれば、いいのではないかと思う。

会 長

小学校のプールの事業を委託する民間の水泳スイミングスクールの運営会社、あるいはフィットネスクラブの運営会社に、プールの事業を部分的委託するっていうのを、他の都市では始まっていたりもするので、集約することで、おそらく先生ではなくて、専門の方がプロ指導するっていうことも、おそらくセットになってくるのではないかと思う。先ほどの意見のように、自分が使う視点や、市民全体が使うという視点と、前回から話題になっていますが、子どもたちというところ、学校施設というところを、改めて、施設の古さを見ると、おそらく改修、工事はかなりの頻度でやってかないといけないっていうところで、改修工事がどれぐらいの年間金額で、どれぐらいのペースで行われるのかとか、本当にその改修ができるのかとか、そういう状況も、私たちがわからないと、そんなに費用が掛るのであったらそれ集約したほうがいいでしょうということになる可能性もある。おそらく、改修工事には、既に費用を掛けているのではないかということが予想されるので、その辺りの情報も可能な範囲で、次回までに集めていただくのと、教育委員会で水泳の授業、プールのあり方について、今どのように議論されているのかというのは、やはりあわせてお聞きしたいところではあります。

委 員

今ずっと話聞いて、学校プールの状況もお聞きしたのですが、規模的に、今の現行は全然無駄という形に私は聞こえてならない。改修して、現状のままの大きさの規模を直すというのは無理な状況で、他の施設を見ていると、規模が大分縮小されて、半分以下、4分の1などということですので、私としては、現行のままの状態ですべて置いておくべきではないという判断しかもう取れない。

あと京都府のアリーナが来るなど、いろんな意見出ている。すぐ改修するという方向じゃなしに、向日市全体として長い目で見て子どもたちがこれから大きくなっていく中で誇れるまちにしていきたい。

一応、プールは存続できればいいという形では、私も思いはありますが、民間施設を使えば、自分の健康管理もできますし、そういう意味で民間を使うのも一つです。今、向日市に本当に足りないものをもっと検討していただいた方がいいかと思います。

会 長

前回からも周辺の不確定要素が多い中で、今早急に決めるということではないという雰囲気皆さん感じておられると思いますのであくまでも事例紹介をしていく中で、今すぐこれって決められない状況というのは皆さん同じだと思います。

今のようないろんなご意見をいただく中で決めていければと思いますが、私たちが決めるというよりは、あり方の検討をする会議なので、ひょっとしたら、全員が同じ意見にはならない可能性も十分あると思います。2つとか3つとかのパターンってこと、検討結果ということになるということも仕方ないと思います。

今回どちらかという学校関係のことを、情報としていただいているので、ちょっと学校のお話が多くなってしまうと、何かそっちの方向に決まっていく評価に見えますが、教育委員会が多分一番、決定権持っておられるので、そちらの様子も聞かないといけないと思います。

委 員

先ほど、おっしゃたこともすごくよくわかる。やはりプールを現行のまま、この規模でやっていこうっていうのは厳しいと思うので縮小もありきだというふうに思っています。

この施設を小さくしながら、このアンケートの中で、こんなことしたら、もっと人が集まるのではないかなというような意見がいっぱい出ていたので、例えば喫茶のスペースとか、軽い食事ができるスペースとかもあったらいいのにとか、そういう小さな声がいっぱい入っていたので、そんなことも、人が集まる場所にしていくためには方法がもう少しあるのではないかなというのもこのアンケートの中から読ませていただきました。

委 員

小・中学校を集約することは、すごくいいなと思う。今の学校のプールは、夏しか使わないが、集約することで年間通してプール授業ができることは、すごく魅力的だと思う。私は、乙訓中学校の出身でプールがないのが当たり前で、小学校の時にプールの授業は、終わっているが、私の意見としては、集約して午前中を学校が授業で使うという形と、あと小学校に、防災の拠点を整備するのがいいと思う。今の市民温水プールの場所に、防災の拠点を作っても自分の家からだとすごく遠いので、結局近いところにそういうきちっとした場所があるといいと思う。

もし、プールを建てるとして、もう少し規模を縮小して、テニス

コートとか、プールだけではなくて、一つでもいいので、そういうグラウンドとか、そういうコートとか、総合的なスポーツに関連するものを整備してほしいという気持ちがある。

会 長        テニスコートだけではもちろんないのですが、そういった向日市にない施設を新たにというようなご意見も、もし他にあれば発言いただければと思います。

委 員        私も勝山中学校の出身で、プールがないのが当たり前でしたが、特に無くて困ったというのはなかった。中学生なので、思春期もあり、なくてよかったと実際思っていた。水泳は大好きですし、プールには行っていましたが、授業としてはもういいのかなというのは、中学校の時思っていました。

現在のプールのあり方に関しては、鶏冠井・上植野東部地区まちづくり協議会の土地の使い方によってすごく変わってくると思う。

今、田んぼや畑の状態なので、そこにテニスコートや、サッカーコート、防災公園など、屋根のない箱物じゃないものを作って、建物として、今の向日市民温水プールの建物のところに、学校がどうされるかわからないが、学校プールを集約するのであれば、鹿嶋市の例のように、今の4分の1のサイズでプールを作って、あとの4分の3を違う複合施設として、料理教室やマルシェもでき、子どもたちも来られるように、小さな図書館や安全に遊べる遊具が置いてあり、先ほどおっしゃっていた喫茶があるだとか、公的なものを、あとの4分の3に建物を作ればいいのではないかと思います。

会 長        鶏冠井・上植野東部地区まちづくり協議会のところは、まだ今進行中ってところですが、動きは非常に重要というかリンクしてくる。可能性がいろいろと広がるということも、また共有していただければというふうに思います。

勝山中学校の件は、逆にプールがないから勝山中学校がいいみたいなことも若干あると思うが、私は何が問題かということ、同じ市内の中学で学びが違うというのが問題で、あるのがいいとか、ないのがいいのかというのは教育委員会で議論してもらえばいいのですが、一つの中学校だけないということがちょっと驚きであります。

委 員        勝山中学校にプールがないのは、前身の乙訓中学校の時は、学校の規模が今と違っていた。以前は、久世、大山崎、大原野、長岡京市の一部から、乙訓中学校に通っていたので、乙訓中学校自体にスペースがなかったと思う。運動会にしても、競輪場でやっていたという歴史があると思うので、プールを作ることが出来なかったと思う。

会 長            そういう物理的な事情で、できなかったということですね。そこで何かそれに代わる学びみたいなものがないのか、そこはどうかかと思いつつ、今回、いい機会なので教育委員会に状況を伺いたしたいと思います。

委 員            スケールは小さいけれど、プールを存続していただきたいという思いがある。今日の話を知っていると学校プールの集約などの話があるので、そういったので維持できれば一番いいかなとは思っています。

委 員            向日市の中で、縦割りじゃなくって、柔軟にいろんな話ができるようになっていただけたらいいなと思う。あと小さな公園がたくさんありますが、どこもボール禁止って書いてあって、ちょっと高学年の男の子とか、伸び伸び遊べる場所がないっていうのはとても寂しいなと思っていて、それこそ森本、鶏冠井などの地域の開発の時に、そういうグラウンドというか、公園など広い場所ができたらいいなっていうのは、やはり希望としてありますのでぜひお願いしたいと思う。

会 長            今、会議を運営しているのが、市民サービス部の地域福祉課ですが、ここに至るまでもいろいろな背景があるということをお伺いしています。何が言いたいかというと、やはり今おっしゃったようにもう少し部署、横断型で、例えば、今教育委員会が、プールのことをどういうふうにして今、議論をされているのか、防災拠点の話も、防災のところ、何か、並行してお考えなのかどうか、スポーツ関連部署のテニスコートの話なども出ましたし、アリーナの話も少し出ており、現状はどうなっているのか、足りない施設の要望はどうかおそらく何年かに1回は、スポーツに関するアンケートを実施していると思いますので、そこで何か要望が上がっているのか、公園の話で、公園で禁止事項が非常に多いというところで、公園の関係で何か今新しい動きがあるのかどうかというところですね。

                  少なくとも教育委員会、あとスポーツ関係、公園関係、防災や、環境も、この辺りのところの現状の動きと、サイズダウンというご意見、あるいは、小・中学校のプールの機能を集約するというのも一つ考えてもいいのではないかとすることは、概ね、検討事項で、もう少し詳しい情報をいただいてもいいのではないかとすることは、皆さん反対ではないのかなというところですね。

事務局            この会議を開催するにあたり、いろんな条件を提示していく中で皆さんからご意見が出てくるだろう部分がある程度想定しながら、各部署にこういった話が出たときによろしく願いますというこ

とも話はさせていただいています。また、当然所管課があつて、連携を取りながら行政は進んでいきますので、ここは別の部署で関係ありませんってことは、ご心配いただかなくて大丈夫と認識しております。しかし、ただいま言われているところ、全部を一気にご説明すると時間が全然足りなくなってきたりする部分もあるのかなと思います。皆さんにご提示していければと思っております。

会 長 多分、全部は無理だと思うので、少なくとも小中学校のプールの状況、どんな議論がされているのかということと、その改修含め、これまでも改修を繰り返しておられると思うので、どうされていたかというような情報が今ないので、そのあたりの情報をいただき、プールの授業を民間に委託するような自治体も今出てきたりしているので、例えばそういう、ご議論があるのかないかどうかも、お聞かせいただければと思います。

委 員 プールの場所は、文化財があり、規制がかかっていると思うのでその辺をもうちょっと頭に入れていただいたらありがたいなと思います。

事務局 文化財ということも当然理解しておりますので、その部分も十分鑑みたいと思っております。

会 長 あとちょっと先の話ですけれども、健康増進施設やプールとか、体育館以外で、向日市の公共施設で指定管理やPFIを導入されているケースっていうのは、何かありますでしょうか。

事務局 向日市でPFI導入事業というのは、承知しておりませんが、指定管理制度については、直近にできましたまちテラスMUKO、向日市民体育館、向日市福社会館、そういったところが指定管理として導入はさせていただいております。

会 長 先の話になると思いますが、やはり財政難っていうところで皆さん懸念されているところもありますので、うまくいっている事例、他の施設の情報なんかもいただければと思いますし、今日ネーミングライツの話も出ましたが、やはりネーミングライツもなかなかつかない状況もあります。条件を下げれば当然つくという状況もあるので、ただそういった資源を集めるという方法は、昔に比べるとかなり多様化してきていますので、ちょっとそのあたりのところでも向日市が、他の施設で取り組んでおられる、参考になりそうな事例なんかも少し共有していただければいいと思います。

委員

要望ですが、資料を見ていただいたらわかると思うんですけど、この資料全く人が写ってないので、誰が使っているのかとか、どういう年齢層が使っているかっていう事例が全く出てないので、皆さんイメージがわからないと思う。会長や委員でも、事例の説明をされている方は、実際に見ているから話すことができる。私も鹿嶋市の施設に行ったことかがあるんで話すことができる。

やはり百聞は一見にしかずで、いまだに議員さんもすごく視察に行かれています。見るってことが大事で、やはり見て、どんな人が使っているか、向日市の施設もどの時間に誰が使っているかを目でみると全く違うので、そうやって見ることで話すことができると思います。机の上でできることは限られているのと、資料見てわかることは、ほんの少しです。見るとやはり話せるので、皆さんできるだけどっか遊びに行かれたら、そこ見ていただければ写真撮ったりとかできたりするので、そういうのを見に行っていていただいて、何かお話いただく方が、いい話ができたりすると思います。

市の方もそういう連れていってくれるところがあれば、皆さんで見に行けたらいいなと思っていますので、提言であります、よろしくをお願いします。

会長

多分、市には予算がないだろうなと思いながらドキドキしながら聞いていましたけれども、皆さんご自身でどこかに足を運ばれたときに、見ていただいて、ちょっと写真でも撮っていただいてという発言でした。おっしゃるようになって、使っている方の様子を見ていただくのも一つですし、あと、会長の立場で市の方に寄り添っているわけではないのですが、相当資料頑張って作っている方だと思います。

皆さんお忙しいと思いますが、どちらか足を運ばれた時に今お話があったようなちょっと見ていただいてっていうところもご協力いただければと思います。

向日市の施設は、皆さん時間がある時に、また自分が使っていたときのイメージとか、昔のイメージと違うかもしれませんので、そのあたり、皆さん、委員の皆さんにもご協力いただきながら、今のご意見ぜひご検討いただければと思います。

少し時間超過して、申し訳ありませんが、前回同様非常に皆さんから有益なご意見をいただきました。いつまでに、これを決めなければいけないというゴール設定をあえてしていないという会議になります。不確定な要素が非常に多いことと、影響される大きな話がいろいろ動いているということもあるので、ちょっと皆さんの中では、なかなか自身で発言してもまた同じ話を発言しないといけないというようなことになって、もどかしい面もあるかもしれませんが、こちらの検討委員会だけで判断できない要素がかなり含まれて

いるということもご理解いただき、また、次回、同じようなご発言をいただかないといけないかもしれませんが、今日出た情報を集めていただいて、次回の会議、情報共有をしていただき、また議論ができればと思います。

#### (4) その他

次回会議について、12月下旬頃を予定していることを報告

#### 4 閉会